

**「日興アシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」に
「ネクスト BRICs 通貨コース」を新設**

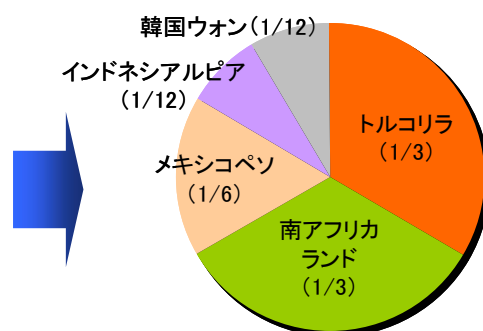
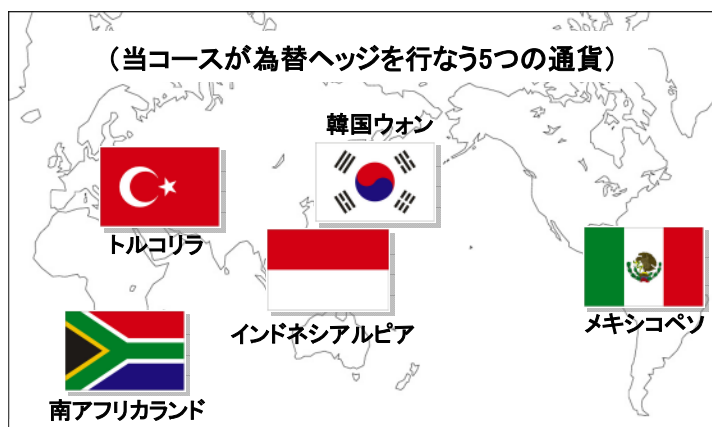
～ 「ブラジルリアル」「インドルピー」「中国元」の既存3ファンドに加えて ～

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO:ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)は、「日興アシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」の既存の3つの通貨コース「ブラジルリアルコース」「インドルピーコース」「中国元コース」に加えて、複数の通貨を組み合わせた「ネクスト BRICs 通貨コース」を本日、新たに設定、運用を開始しました。販売会社は日興コーディアル証券株式会社です。

「日興アシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」は、経済成長により民間企業の存在感が高まりつつある新興国の社債、株式、不動産に実質的に投資を行ない、高い投資収益の獲得をめざすファンドです。2010年2月に運用を開始した「ブラジルリアルコース」「インドルピーコース」「中国元コース」の3ファンドは、投資家のみなさまにご愛顧・ご評価いただいております。純資産総額が3本合計で4,790億円(2011年2月末現在)に成長しています。

このほど新たに追加した「ネクスト BRICs 通貨コース」では、トルコリラ、南アフリカランド、メキシコペソ、インドネシアルピア、韓国ウォンの5つの通貨をバスケットにして為替ヘッジを行ないます。当ファンドにおいて、ネクスト BRICs とは、成長著しい BRICs(ブラジル・ロシア・インド・中国)に続き、高い成長を遂げることが期待される潜在性を持つ国々の総称です。これらの国々は、今後経済発展に伴って通貨の上昇が期待されます。新しいコースでは、このネクスト BRICs と呼ばれる国々のなかから、流動性や地域分散も考慮して、アジア、アフリカ、中南米の各地域を代表する国々を選定しています。値動きの異なる複数の通貨を対象にすることで収益の源泉を多様化させることができます。

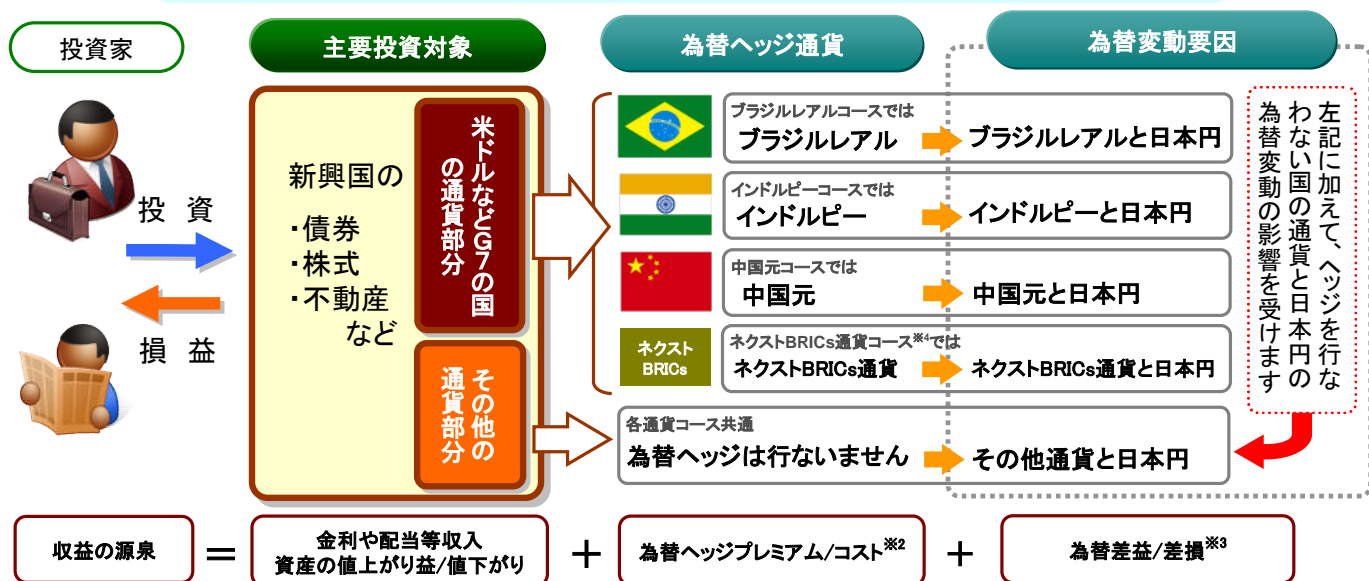
<ネクスト BRICs 通貨コースの組入通貨>



上記は2010年12月末現在の目標組入比率です。

当ファンドは、運用ニーズに合わせて「ブラジルリアル」、「インドルピー」、「中国元」、そして新設した「ネクストBRICs 通貨」の4つの通貨コースからご選択いただけます。各通貨コースでは、各資産のうち米ドルなどG7の国の通貨部分について、為替ヘッジ取引を用いて為替ヘッジプレミアム(金利差相当額)の獲得などをめざします。各通貨コース間および日興マネー・アセット・ファンドとの間でスイッチングが可能です。

各通貨コースでは、各資産のうち米ドルなどG7の国の通貨部分についてコース毎の通貨買いの為替ヘッジを行なう^{※1}ことにより、為替ヘッジプレミアム^{※2}や、為替差益^{※3}の獲得が期待できます。



※1 市況動向および資金動向などにより為替ヘッジ取引を行わない場合があります。
 ※2 通貨コースによっては為替ヘッジコストとなる場合があります。
 ※3 ヘッジ先通貨の為替相場、また為替ヘッジを行っていない通貨については当該資産の通貨の為替相場が円高となった場合には為替差損となります。
 ※4 当該コースは、有価証券届出書提出日現在、実際の運用を行なっていませんが、2010年12月末現在の目標組入比率は、トルコリラ 1/3、南アフリカランド 1/3、メキシコペソ 1/6、インドネシアルピア 1/12、韓国ウォン 1/12 となっています。

「日興アシュモア新興国財産 3 分法ファンド毎月分配型」の運用は、新興国での投資に豊富な経験を持つアシュモア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行ないます。アシュモア社は新興国市場の債券運用および株式運用に特化した運用会社であり、世界中の機関投資家などから預かった約467億米ドル(約3兆7,900億円、2010年12月末現在、1米ドル=81.19円で換算)の資産を運用しています。

今後も、日興AMは投資家のみなさまの資産形成の一助となる商品開発に尽力してまいります。

以上

■お申込メモ

商品分類	【各通貨コース】追加型投信／海外／資産複合 【マネー・アセット】追加型投信／国内／債券
お申込単位	【各通貨コース】 (新規申込時)10万円以上1円単位 (追加申込時)1万円以上1円単位 (スイッチングの場合)1万円以上1円単位 (全額スイッチングを行なう場合)1円以上1円単位 【マネー・アセット】 (スイッチングの場合)1万円以上1円単位 (全額スイッチングを行なう場合)1円以上1円単位 ※日興アシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型の各通貨コースからのスイッチングのみ
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	【各通貨コース】取得申込日または取得申込日の翌営業日がニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガンジーの銀行休業日に当たる場合、および取得申込日から起算して9営業日目までの期間中に、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガンジーの銀行休業日が2日以上ある場合には、取得のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
信託期間	2020年2月3日まで(2010年2月26日設定) ※ただし、日興アシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ネクストBRICs通貨コース)は、2020年2月3日まで(2011年3月2日設定)
決算日	【各通貨コース】 毎月3日(休業日の場合は翌営業日) ※ただし、日興アシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ネクストBRICs通貨コース)の初回決算は、2011年4月4日とします。 【マネー・アセット】 毎年2月3日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	【各通貨コース】毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。 【マネー・アセット】毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※ 原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、日興コーディアル証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
ご換金価額	【各通貨コース】換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額 【マネー・アセット】換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	【各通貨コース】換金請求日または換金請求日の翌営業日がニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガンジーの銀行休業日に当たる場合、および換金請求日から起算して9営業日目までの期間中に、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガンジーの銀行休業日が2日以上ある場合には、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して9営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※ 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【各通貨コース】は日興アシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型の各通貨コースの内容、【マネー・アセット】は日興マネー・アセット・ファンドの内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

日興アセットマネジメント株式会社

〒107-6242 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

www.nikkoam.com

■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料:【各通貨コース】お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のように入ります。

1 億円未満…………… 3.6750%(税抜 3.50%)

1 億円以上 5 億円未満…………… 2.1000%(税抜 2.00%)

5 億円以上 10 億円未満…………… 1.0500%(税抜 1.00%)

10 億円以上…………… 0.7875%(税抜 0.75%)

:【マネー・アセット】 ありません。

※日興アシュモア新興国財産 3 分法ファンド毎月分配型の各通貨コースからのスイッチングのみ

- 換金手数料 : ありません。

- 信託財産留保額 : 【各通貨コース】換金時の基準価額に 0.25%の率を乗じて得た額(1 口当たり)

: 【マネー・アセット】ありません。

- スイッチング手数料 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 【各通貨コース】純資産総額に対して年 2.2895%(税抜 2.24%)程度の率を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。

※信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率 1.0395%(税抜 0.99%)、投資対象とする「アシュモア・エマージング・マーケット・トライアセット・ファンド・リミテッド」の組入れに係る信託報酬率が年率 1.25%程度となります。

※受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券などの組入比率などにより変動します。

:【マネー・アセット】純資産総額に対して年 0.5775%(税抜 0.55%)以内の率を乗じて得た額

- その他費用:組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社 :日興アセットマネジメント株式会社

受託会社 :中央三井アセット信託銀行株式会社

(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

販売会社 :日興コーディアル証券株式会社

【各通貨コース】は日興アシュモア新興国財産 3 分法ファンド毎月分配型の各通貨コースの内容、【マネー・アセット】は日興マネー・アセット・ファンドの内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

日興アセットマネジメント株式会社

〒107-6242 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

www.nikkoam.com

■リスク情報

- 日興アシュモア新興国財産 3 分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/(インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクスト BRICs 通貨コース)

当ファンドは、主に債券、株式および不動産投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式および不動産投信の価格の下落や、債券、株式および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様

に帰属します。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。
【価格変動リスク】、【流動性リスク】、【信用リスク】、【為替変動リスク】、【カントリー・リスク】、【デリバティブリスク】

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

- 日興マネー・アセット・ファンド

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様

に帰属します。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。
【価格変動リスク】、【流動性リスク】、【信用リスク】

■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「日興アシュモア新興国財産 3 分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/(インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクスト BRICs 通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家のみなさまに当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者のみなさまに帰属します。当ファンドをお申込みの際には、日興コーディアル証券より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

1999 年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

また、2010 年秋からは自社を「投信製作所」と名乗り、運用会社の役割と投資信託の使い方をわかりやすく伝える啓発活動を行なっています。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行なってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ*の運用資産残高は約 10.3 兆円(2010 年 12 月末現在)**に上り、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに海外拠点を有しています。

*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。